

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
Ⅰ.理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員が集まるケア会の日には会場に貼っている理念を読み返したり、毎日のミーティングで話したりして再度確認しながら実践している。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	秋祭りや炊き出し訓練には地域の方・ボランティアの方々に多くの参加していただき、また各々の地域の店を利用し、地域の人と交流を持つよう努めている。			
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	参加者の意見を聞かせていただき、適正な運営に努めている。			
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	市役所の担当職員に運営推進会議を通じ、ホームの内情を理解していただき、分らないことを相談して意見を交わすことで互いに協力できる関係となっている。			
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	代表者や職員が身体拘束の研修に定期的に参加している。 皆で話し合い、対応等工夫。 身体拘束をしないよう心掛けている。		Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族としても安心できる。 定期的に研修に参加。理解を深めている。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ホーム内でも全職員に勉強会を設け、職員は虐待に対する理解を深めている。 虐待防止委員会を設置し、早期発見・入居者の尊厳を守るケアを徹底している。		Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族としても安心できる。 ストレスに気を配り、職員同士の声掛けも行っている。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 充分にできている Ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員は研修に参加し、参加した職員がケア会などで勉強会を行っている。入居者のみなさんと該当する方に活用できるように協力している。			

8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	㊤. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約時や内容の変更の際には時間をかけて説明し、理解をいただいている。又、疑問がある方には個別に対応している。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	㊤. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	意見箱の設置と第3者の苦情窓口を設置し、いただいた意見を前向きに生かせるようにしている。日常的に利用者の意見を聞くようにしている。		㊤. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	推進会議棟で家族さんと話されている。 入居者や地域の人に参加してもらい、意見を取り入れることで運営の改善に努めている。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	㊤. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	施設長・副施設長・統括管理者が頻繁にホームに顔を出し、職員と直接話をする機会を設け、職員の意見を生かせるようにしている。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	㊤. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	代表者は職員・管理者の意見を納得いくまで聞いてくれる。職員の希望の勤務時間を可能な限り受け入れている。		㊤. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員の事情も考慮し、資格取得等積極的に取り組んでいる。 職員の事情に応じて、働きやすいように勤務時間の見直しを行っている。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	㊤. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員一人一人を研修に参加させ、職員にあった研修に参加各自の資質の向上に努めています。		㊤. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	色々な研修に参加している。 事務所全体で資格習得を促し、職員の能力向上に努めている。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	㊤. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人内に三つの事業所があるためその中で交流している。 また研修等で他施設の方の状況等聞き、サービスの向上に努めている。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	㊤. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の個性を大切に、かかわりを持つ。 残存能力を活かし、皿洗いや洗濯量み等の家事をしている。お互いにお礼を言いあいながら生活している。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	㊤. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	可能な範囲で入所前から利用していた店を利用している。馴染み深い方たちとの交流をする。住み慣れた地域にドライブに行く。どうしても自宅に帰りたい方は連れていくこともある。			

Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	㊤. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	その人の尊厳を大切にその人らしい生活ができるように本人の希望、意向を大切にしている。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	㊤. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日のケアプランチェックと月に1回のケア会で話し合っている。家族や必要関係者(訪問看護など)からのアドバイスをいただき介護計画に反映させるようにしている。		㊤. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	サービス事業所職員の意見も取り入れている。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 充分にできている ㊤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の記録を個別記録に記入している。別紙には日々の気づきについて記載し、ケアプランの見直しに役立てている。		㊤. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	気づきがあれば記入している。 LINE 等を活用し、利用者の情報共有が行える体制づくりがなされている。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	㊤. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事業所はその時の個人の状況を重んじ、その人に合った支援をしている。 特に本人さんに対して可能な範囲で自由に対応させてもらっている。			
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	㊤. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	幼稚園児がホームに来て窓越しにお話をしている。地域の馴染み深い美容室・商店等を利用している。			
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	㊤. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	受診は本人・家族の希望を大切にし、可能な限り以前よりお世話になっている主治医に診てもらっている。認知症専門医やその他の受診科目の受診時には家族の了解を得ている。 かかりつけ医には、その都度手紙や連絡を取り、皆で支えられるよう支援している。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	㊤. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院時には情報交換を行い、可能であれば入院中は職員・管理者がお見舞いに行く。電話での情報交換もしている。主治医との連絡も取り病院、本人、家族、百日紅との退院計画をできるだけ早くできるように心がけて、情報交換をしている。		㊤. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	すぐに連絡もくれ、心強い。 病院関係者と連携をとることで利用者や家族の安心につながっている。

23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	㊤. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	看取りの指針を入居時に説明し、方針への同意書をいただいている。重度化傾向にあれば医師、家族、管理者と話し合い再度確認して支援している。		A. 充分にできている ㊥. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 充分にできている ㊥. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の身体状態の急変や事故発生時にも適切な行動がとれるように、常に利用者との状況についての情報を伝達している。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	㊤. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	避難訓練を事業所内で行い、避難路・消火器の設置場所の確認。本番を想定した優先順位の確認等を実施する。自主訓練として、入居者を交え災害時訓練等にも取り組む。		㊤. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域住民も交え、訓練が実施できている。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	㊤. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人一人の尊厳を大切にして、個人的なことは部屋に行って話をする。トイレのお手伝いするときも排泄中はトイレの外で待つようにし、プライバシーを考慮している。		㊤. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	排泄や個人的な話等はプライバシーに配慮して対応している。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	㊤. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	各人の個性を見極め、どのように過ごすことが入居者にとって心地よい過ごし方か考えていく。眠い時、部屋で寝る人、ホールで寝る人、自由にしてもらう。洗濯、掃除をする人、食器を洗う人。生け花をする人。家に帰りたいという方には職員が連れて帰り気持ちが落ち着くまで一緒に過ごす。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	㊤. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	好みの食事が食べることができるよう食べたいものを聴いたりする。盛り付けや味見。食材の準備をしていただく。誕生日には本人の好物のごちそうを作っている。		㊤. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	お便り等で皆が楽しんでいるのが伝わってくる。準備・片付け等、できることを手伝ってもらっている季節感が出るよう、行事ごとに工夫している。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	㊤. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人一人の状態に合わせて、刻みやトロミ食にも対応している。水分量の確保を定期的に確認している。空気の乾燥しているときは職員が気かけ、多めの水分補給を声掛け。必要時は水分摂取量のチェックもしている。			

30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 充分にできている ㊦. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	できる方は仕上程度。 洗浄液に入れ歯を漬け、清潔を保つよう努めている。訪問歯科にも来ていただいている。		A. 充分にできている ㊦. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	訪問歯科に来てもらっている。 可能な方には歯磨きの声掛けをしている。 職員ができる範囲で義歯の管理を行っている。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	㊦. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	必要な方にはトイレ誘導でトイレに行き、排泄をしてもらう。歩行が困難な方は部屋にポータブルトイレを設置。		㊦. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	トイレ誘導を行うことで排泄の失敗を少なくできている。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	㊦. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の希望に合わせて入浴する。一人で入浴したい方は最低限の介助。各々の希望とその時の状況で適切に入浴を楽しんでもらう。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	㊦. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	その人の習慣を大切にして休息をしてもらう。エアコン等で気温調整し、環境を整える努力をしている。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	㊦. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	誤薬を防ぐために薬の服薬には注意して何度も確認をする。訪問看護や関係のある医療従事者に処方のコピーを渡して情報の共有をしている。		㊦. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人一人の薬を確認できている。 薬の重複がないか確認を行っている。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	㊦. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人一人の生活歴を活かし、趣味等に取り組む。他にも買い物、毎日のお祈り、各自の楽しみを支援しています。			
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 充分にできている ㊦. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日外に出て散歩や、車でドライブに行く。本人の希望で買い物や市街への買い物に行くこともある。			
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	㊦. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	お金の管理できる方は家族と相談して持っている。外に出たがらない方の欲しいものを代わりに買いに行ったりしている。			

38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	㊤. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	携帯を持っている家族や友達と連絡し、手紙や年賀状、暑中見舞いを家族に出している。最近ではスマートフォン等携帯機器で画像等も送っている。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	㊤. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人が安全・安心して過ごせる環境を作るよう努めている。 入居者の特性等考慮し、皆に不快のないよう席を替えたりして日々工夫をしている。 込み入った話をする際は、共用の場から離れるよう努力している。		㊤. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	季節感が出るように、季節ごとの飾りつけを行っている。
IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目（利用者一人ひとりの確認項目）							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	㊤. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人一人の利用者に日々、気を配っている。また良好な関係を築く事で本人の希望を教えてもらい、意向に沿うことが出来ている。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	㊤. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者に近い方に利用者の特性を教えてもらい、より生活し易くなるよう会議等で話し合いを持ち、ケア・支援をしている。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	㊤. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人に不安・不満が無いが、日々聞き取りをしている。なるべく穏やかに過ごせるよう支援している。		㊤. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の訴えに注意されている。意思表示ができる人は声掛けし、変わったことがないか気をつけている。
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 十分にできている ㊤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	暮らしの習慣を聞き取りして、新たな環境に合わせたペースを探る。また年齢等を考慮し、ペースの変化にも気を配っている。			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近（自室等）に持つことができている	㊤. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	位牌、年賀状や家族等の写真を飾っている入居者もいる。 本人の運動能力に合わせて工夫している。		㊤. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	転倒の危険性のある方は壁に張り出している。

45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	A. 充分にできている ㊦. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	感染症の時期を除き、可能な限り対応するようになっている。 また希望を持てるよう日常会話の中で意識付けであったり、希望を言える・聴ける間柄を本人と職員の間に築けるよう努めている。			
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができる	㊦. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の出来ることをお願いしている。出来る事が増えた方もいる。 皆が楽しめるよう特性に合わせ対応している。			
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができる	㊦. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	元気な方が多く、外に出て趣味に取り組む方も多く、よく話のネタにもなっている。		㊦. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人一人の能力を活かしているのが良い。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができる	A. 充分にできている ㊦. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	散歩に出かけた際、地域の方に挨拶する場面が見受けられる。 近隣住民の理解を得られていると思う。			
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができる	㊦. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	イベント等、積極的に参加しており活気のある生活を送っている。		㊦. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

R7. 12 月作成 楠目